

持ち前の明るさと忍耐力が強みのY氏。

二十代で人材派遣会社を起業し、十年後には複数の会社を経営するまでになりました。

しかし、借金の保証人になったことが原因で全ての会社を手放すことになり、人生が暗転します。人間不信に陥ったY氏は、自死まで考えましたが、思い留まりました。

その後、周囲のサポートを受け、社会復帰を目指している時に、Y氏は「生かされたこの命をどう使うか」へ自分が本当にしたいことは何か」と考えるようになりました。何度も自問自答するうちに、「人の笑顔が見たい。人を笑顔にしたい」へ育ててくれた故郷に恩返しをしたい」という思いが沸き上がってきたといいます。

「一度は終わったような人生だから」と気持ちの整理がついたY氏は、直接人と関わり、喜ばせることができる職業を選択しよう」と決心しました。そして、「やせ騎士（ナイト）」という芸名を考案し、三十八歳で芸人の道を歩み始めたのです。

当初は大手プロダクションに所属していたこともあり、テレビや舞台で活躍することができましたが、芸人としての仕事だけで生活するのは難しく、何度も辞めようと思ったそうです。

しかし、そのたびに自身が一番苦しかった時代を振り返り、亡き父からの教えである「人間は死に方は選ばないけれど、生き方は選べる」という言葉を支えに、努力を怠らなず懸命に仕事に取り組んだのです。その後、長い年月をかけて、芸名が示す



お笑い芸人流 運命を切り開くコツ

ように、減量やダイエットを楽しく指導するダイエットインストラクター芸人としての地位を築いていったのです。

現在では、芸人として日々全国を駆け回り、また、自分を育ててくれた故郷にも赴き、「地元の人にもっと笑って幸せになってもらいたい」と、積極的に地域の各種コミュニティや行事に足を運んでいます。

そして、自ら望んで入会した地元の単位倫理法人会の会長（令和四年九月）に就任し、純粋倫理の学びを深めています。経営者モーニングセミナーの会長挨拶の最後には「すべらない話」を披露し、その場を明るく和やかにしているそうです。

座右の銘の一つに「運命自笑」を掲げて「今が人生で一番充実しています」と語るY氏は、自分の経験を基に運命を切り開く方法として「成功したいなら相手を笑わせなさい」と周囲に伝えています。

「運命」とは文字通り「命」を「運ぶ」と捉えることもできます。「命を運ぶ」とは並大抵のことではありません。努力を怠らず、「今」「ここ」が一番という前向き思考で力を完全に出し切る必要があります。こうした生き方を貫く人にこそ、明るい幸福の舞台が開けてくるのでしょうか。

Y氏は最近まで、職業は何ですか？と聞かれた時に、五十歳を過ぎたいい大人なので、「お笑い芸人」とは恥ずかしくて言えなかったそうです。しかし、今は胸を張ってこう答えています。

「人を笑顔にするお仕事です」と。